

新宮山彦ぐるーぷ第2214回

「第13回あしたのなら表彰」表彰式

◇実施日 12月17日(土) 雨

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、乾克己、山本直子 4名

下北山村と十津川村の共同推薦で「あしたのなら表彰」を受賞することになり、表彰式が行われる奈良市の奈良県コンベンションセンターに向いた。

沖崎さんは車で直接会場へ、私はJR奈良駅で乾さんと待ち合わせて昼食後に会場に向かった。



奈良県コンベンションセンター

表彰式プログラム

お昼過ぎに県コンベンションセンターに到着し、2階の会場に入る。会場では表彰式のリハーサルが行われていた。表彰を受ける人の数

が多くて各々のスピーチは3分間に制限されており、演台の前にデジタルのカウンターが設置されていた。カウントダウンして、3分を越えるとブザーが鳴るしくみだ。表彰式では初めて見る光景だ。



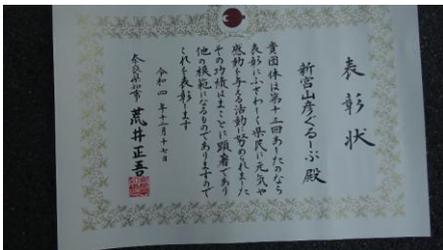
沖崎さんのスピーチ

表彰状をいただく

荒井知事と

定刻に表彰式が始まり、受賞者のスピーチが続いた。殆どの人は3分を超えて話続け、沖崎さんの番になった。若干時間をオーバーしたが、3分で山彦の活動内容を理解してもらうことは難しい。受賞者のスピーチが終わり表彰式に移る。こちらも人数が多いので、かなりの時間を要した。受賞者は荒井奈良県知事から表彰状を受け取った。最後に知事と受賞者が並んで記念撮影し、表彰式が終了した。受賞者は高齢者が多く、我々を除く受賞者は全て奈良県在住の人だった。客席では「なんで和歌山県の団体が表彰されるんや?」と不思議がる声もあったが、我々の活動の場が奈良県であることを知らない人にとっては、もっともな思いだろう。表彰式が終わり、ホテルに向かってチェックインを済ませる。その

後4人で興福寺の南側まで移動し、夕食をとる。食後もまだ雨が降っていたが、興福寺を経由してJR奈良駅西側のホテルまで歩いて戻った。



菊水楼前で

表彰状とメダル

ホテルや駐車場、夕食を手配してくださった山本さんにお礼申し上げます。
(記：梶野)